



▲お手製の横断幕を作成し、桜のトンネルに来た方々を迎えます。(桜つつみ保存会の方々)



満開の桜の木の中をお散歩したり、写真撮影したりとおのこの楽しみ方で桜を堪能されていました。

お散歩中のわんちゃんもきれいな桜に、はしゃぎまわっていました。



こんな方々と出会いました!

桜からパワーをもらってます!

「身体が動く限り、続けるよ〜。」と語るのは、利根町布川にお住まいの石山文子さん(89歳)。60年以上行商をしており、現在も週4日東京の歌舞伎座へ数十kgの荷物を担



利根町布川在住 石山 文子さん
ぎこんで、お店を構えているそうです。

現在も現役でやってらっしゃる石山さんに元気の秘訣を聞くと、「桜つつみのトンネルはお気に入りの場所ですね〜毎年パワーをもらいに来てるのよ〜。それにここまできれいなのはなかなかないわよね〜。」と話していました。



約13年前に植樹されたオーナーの一人である水野ご夫妻。ほかほか陽気の中、ご自身所有の木の下で読書などをしながら愛犬とゆったりとした時を過ごされていました。



約850mにわたって2列のソメイヨシノが植えられています。4月には満開となる桜の木の下をお散歩したり、花見をしたりと憩いの場として町民の方々はもちろん、町外や外国の方からも愛されています。

また、ほかでは見られない「オーナプレート」制を導入しており、利根町のオリジナルともいえるやり方のひとつです。

利根町桜つつみ保存会ロゴマーク



町が誇る桜のトンネル!

その② 町の話 話題

PHOTO NEWS

桜のトンネル 見事に咲き誇る!



きっかけはある一言から...

「ここ(利根)にも、もっと豊かな景観があればもっと良くなる。後の人たちに残せるしそれも大事なことだろう...」今から約20年前、この一言をきっかけに利根川の堤防沿いに桜並木をつくる計画が開始されました。当時約90本を植樹する予定でオーナーを募集したところ、なんと約200人も募集があり、現在では182人のオーナーがああ素晴らしい景観を維持し続けられるよう、日々剪定や施肥などの手入れを行っています。茨城の125選にも選ばれたまさに利根町の名所のひとつ!ぜひ、この景色を見に来てください。